

令和3年3月8日

保護者様

神崎市立神埼小学校
校長 庄 嶋 巖

令和2年度 学校評価アンケートの結果について（お知らせ）

平素より、本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただきありがとうございます。
1月末にお願いしました「学校評価アンケート」へのご回答、ありがとうございました。
つきましては、集計結果と考察をお知らせいたします。ご回答いただいたご意見は、今後の学校運営、教育活動に生かし、「4」の評価がもっと増えるように努めてまいります。
なお、自由記述に関しては「学校だより第22・23号」で回答させていただいております。
今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

保護者アンケート結果（令和3年1月下旬実施）

※単位(%)、小数第1位で四捨五入

※機械読み取りにつき、多重回答、無回答などにより必ずしも合計100%とならないことがあります。

※結果数値の下段数値は、回答「4」と「3」、「2」と「1」を合わせた合計(%)です。

※【 4: そう思う 3: だいたい思う 2: あまり思わない 1: 全く思わない】

番号	アンケート質問項目	4	3	2	1
1	子どもは、家庭学習の習慣が身につく、「宿題」や「明日の準備」ができています。	30	53	13	1
		83		14	
2	子どもは、よく本を読んでいる。	20	28	38	11
		48		49	
3	子どもは学校が楽しいと言っている。	48	41	9	0
		89		9	
4	学校は、分かりやすい授業を行っている。	32	62	4	0
		94		4	
5	学校は、子どもの健康(保健・衛生)について指導している。	46	51	1	0
		97		1	
6	学校は、子どもたちを事件や事故から守るための指導を行っている。	42	54	2	0
		96		2	
7	子どもたちは、あいさつや返事ができている。	23	58	16	1
		81		17	
8	学校は、教育方針や教育活動を伝えている。	46	48	3	0
		94		3	

9	学校は、思いやりの心を育てる教育を行っている。	32	61	5	0
		93		5	
10	学校は、一人一人の児童が大切にされる学級づくりに努めている。	34	59	6	0
		93		6	
11	学校は、家庭と連携を取り合いながら子どもの教育を進めている。	40	51	7	0
		91		7	

【考察】

- ・子どもの読書について、学校では、図書館の貸出は大幅に増え、全校的にはよく読んでいると考えるが、家庭読書がもう一步のようである。家庭では、ゲームなどに時間を使っている児童が多いと考えられる。
- ・保護者からみて、学校が楽しいと感じる児童がおよそ9割なのはよいと考えるが、そう思えない児童に、いじめなどの問題が潜んでいないか学校として注視していく必要がある。
- ・学校が分かりやすい授業を行っていることについて、9割超の肯定的回答を得ているが、「そうでない」と考える保護者もいる。30～36人が在籍する学級で、個に応じた学習指導として、個人差を考慮しながらの学習指導は困難でもあるが、今後ますます教員に求められるところである。
- ・健康指導については、感染症に関する啓発や指導が多く行われ、保護者の意識も高いことがうかがえる。
- ・事件事故から守る指導について、特に児童が回答する「交通安全のルールを守っている」という自己評価に対して、保護者から見る学校の指導にやや開きが見られる。地域住民から児童の登下校に関する注意事項などの報告も学校に来ていることから、指導の在り方も含めて繰り返し指導をしていきたい。なお、校内への車両の乗り入れ時のルールを1学期に決めさせていただいたので、今後も保護者に周知徹底を図りたい。
- ・あいさつや返事について、保護者は概ねできているとの回答に対して、子どもの自己評価は高くない。
- ・保護者参観等がほとんどできなかったが、学校は、学校便り、学級便り、HPIによる学校の様子をできるだけ細やかに伝えることを努めたこともあり、学校の方針伝達について、肯定的な回答を得ることができた。
- ・ほとんどの項目について、おおむね8割以上の肯定的回答をいただいている。しかし各項目のその内訳に着目し、「だいたい思う」から「そう思う」に移行させていくような取り組みを学校として行っていく必要があると考える。